
学長式辞

東洋大学 学長 矢口悦子

東洋大学及び東洋大学大学院へのご入学、誠におめでとうございます。

満開を迎えた桜の花に囲まれた日本武道館において、ご家族の皆様もお迎えして入学式を挙行できますこと、大変嬉しく思っております。

今年度は、昨年度の赤羽台キャンパスに続いて、朝霞キャンパスにおいて新しい教育が開始されます。朝霞キャンパスでは、建築工事初期の遅れにより、研究機器や実習設備の完全な稼働は夏頃になりますが、それまでの間、あらゆる方法を駆使して皆さんの教育が充実したものとなるよう教職員一同準備をしておりますので、ご安心ください。

コロナ禍による影響はかなり小さくなり、対面による教育活動や部活動、サークル活動等の課外活動も制約なく行われるようになりました。ただ、ウクライナへの侵攻により始まった世界的な分断と経済活動の変動や円安の影響などにより、海外への留学や研修はいくつかの制限が発生し、また、その費用が高騰しております。なんとか、学内外の奨学金などを活用して皆さんの願いが実現できるようにと思っております。こうした社会情勢の変動により、皆さんの国際人としての学びが縮小してはならないと考え、本学では、学内で英会話等の課外講座を実施し、今年度より、学生の皆さんに無料で提供しようと準備しております。是非積極的に活用してほしいと思います。

本年度の大きな出来事として、パリオリンピック・パラリンピックが予定されています。本学からは在學生とOBOGそれにコーチ等に選考された教職員を合わせると相当数のメンバーが参加することになります。皆さんの同期生も出場が決まっています。本学はスポーツに力を入れている大学として評価されており、アスリートの活躍を支援するだけではなく、スポーツを通じた地域貢献や社会貢献にも大いに力を入れています。さらに、スポーツに関する研究の成果を活用して人々の健康作りや幸福にも貢献したいと努力をしております。そして、より多くの学生による応援文化を創り上げることも目指しています。中学や高校時代にコロナ禍に遭い、直接的で濃密な仲間との交流の機会が制限された経験を持つ世代の皆さんにとって、学部や学科を超え、又50カ国以上の国と地域からの留学生、さらには教職員も一緒にチーム東洋として応援する機会は貴重であると考えているからです。

さて、これから東洋大学での学びを開始するにあたり、本学の教育理念についてお話いたします。

東洋大学は「諸学の基礎は哲学にあり」を建学の精神とする世界的に見てもユニークな大学であることは、今更申し上げるまでもないことですが、創立者である哲学者井上円了先生は、この精神と共に「独立自活」という言葉も好んで使っておられます。

「独立自活」というのは、「自らの頭でしっかりと考え、主体的に活動する」という意味です。なぜ、そのようなことを円了先生が強調されたのかと申しますと、今から100年以上も前に、3度も世界旅行を決行して、社会のあり方や教育、宗教、人々の暮らしを広く見聞してきた円了先生は、当時の日本では、人々が迷信や根拠のない噂話、あるいは誰かの話を鵜呑みにして行動し、その結果についても他者のせいにしてしまう傾向があると考えました。当時の欧米各地で、老若男女一人一人が堂々と自分の考えを述べ、また学校を卒業した後にも学びを続けている姿に感銘を覚えたのです。自分で考え行動する力がなければ、民主的な国は育たないとの確信を持つに至り、「独立自活」の大切さを強調されました。自分で考え、自分で判断し、具体的に行動に移す、そうした生き方が重要であるとの創立者の考えは、21世紀の現在でも同じ様に重要であると思います。

皆さんは「同調圧力」というような言葉を耳にしたことがありませんか。これだけ、自由に生きられる社会になっているはずなのに、周りの目が気になり、小さなグループの間でも他の人の目線を気にしながら生きている若者が多いと言う研究報告が多数公表されています。もし、皆さんの中でも他の人の目線や言葉がとても気になり不安になるという方がいらしたら、その不安の正体を突き止めてほしいと思います。

実は、自分の中にあるその不安は、他者による評価に対するものだけではなく、その奥にある自分が大切にしたい価値との不協和音かもしれません。そのことを突き止める為には、いくつかの方法があろうかと思いますが、友人や教職員、図書や時にはAIを相手に対話を重ねることもありましょう。あるいは、何かを共に成し遂げる経験を持つことによって不安を追い払うことも考えられます。そこで得た経験は、自信となり、自らを支えてくれるかもしれません。そこでの大切な向き合い方が「他者のために自己を磨き、活動の中で奮闘する」という「東洋大学の心」として私達が大切に引き継いできていることです。

自己の価値観や真理への向き合い方は、日常的な他者との関係によって少しずつ形作られるものであると思います。誰かの困難を解決するために、あるいは結果として喜びをもたらすことに自らの努力によって関わる、その経験が得られれば、皆さんは次第に自分の基礎となる軸をつかむことができるのです。

これから始まる大学生活では、自分の人生の軸となる思想や哲学を持つために、各専門分野における教授陣の指導による最先端の学問研究を深め、あるいはスポーツや芸術・文化などの課外活動に邁進し、仲間と交流し、豊かなキャンパスライフを過ごしてほしいと思います。

皆さんの充実した大学生活をひとえに祈念申し上げて、式辞といたします。